

# 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

## 住民説明会及び意見交換会

### 第4回 開催報告

#### 議事概要

対象地域：札幌苗・中沼・東雁来連合町内会のうち  
札幌新道以北の地域

開催日時：平成30年10月5日（金）19：00～20：30

開催場所：モエレ交流センターホール（札幌市東区東苗穂7条2丁目2-30）

参加者数：市民13名（地域の方8名、地域以外の方5名）、  
札幌市（事務局）3名、北海道（オブザーバー）1名、  
道銀地域総合研究所（事務局）4名

計21名



#### 1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

#### 2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

#### 3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

#### 4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

##### 【利活用の検討の進め方について】

- ・この問題を、普段は町内会の回覧や新聞で小さく見る程度だが、情報公開が足りない。ホームページで公開するだけでは不十分であり、こういう意見交換の場や報告書を、例えば札幌市の広報等で、あまねく市民にきちんとお知らせし、考える時間を提供していただきたい。
- ・住民と札幌市が、こういうテーマで敵対的にやり合う必要はない。飛行場を拡張することがなぜまちづくりなのか。安心や安全、環境、暮らしといったテーマで共通点を見出し、決して対立ではなく、きちんとした議論をして、一つの方向性を見出す。それぞれの立場と機能、役割をしっかりと果たし合うことが大切だ。
- ・ビジネス目線ばかりで周辺住民の安全に配慮がないと感じる。

#### 【空港周辺の環境について】

- ・音がうるさい。
- ・三十数年ここに住んでいて、一番うるさいのは航空ページェントだ。また、自衛隊の編隊が音を立てて飛んでいくが、そのときにも騒音調査をしていただきたい。
- ・町内会の広報に、札幌中学校で騒音調査をしたと掲載されていたが、そこは航路の真下ではない。住んでいる住民目線ということを明確にしていきたい。
- ・札幌小学校の真上を飛行機が飛んでいくから凄い恐怖だ。もうこれ以上は便数を増やさないでほしい。
- ・沖縄の米軍基地や佐賀空港の状況から想像するに、本当にオスプレイが来るのではないか。丘珠空港の機能や設備等、ハード面を今以上に拡張することになれば、そういう不安を持つ。

#### 【整備に関わる費用について】

- ・地震があって、あれこれお金がかかるのに、空港整備や創成川通の道路工事に金を使うのはちょっとおかしい。その分のお金があるのなら、社会保障等に回してほしい。年金暮らしや子育て世代が多く住んでおり、社会保障の目線を持たずに税金を使うのであれば、市民の税金の無駄遣いだ。

#### 【本説明会の運営について】

- ・今日のこの意見交換会で終わりにしてほしい。今回出ている意見をきちんと広報に載せてほしい。関係する町内会の全戸にこういう資料を配付すれば皆、問題意識を持って参加するようになる。

#### ○ご質問

##### 【利活用の検討の進め方について】

- ・滑走路を延伸することが目的で、そのための説明会ということか。今もジェット音がかなりうるさく、自宅の上も飛行機が通るが迷惑で、航空ページェントの時に苦情を言った。

(回答) 利活用するに当たってどのようなことができるかということ、タブーなしで考えており、この説明会によって延伸が決まるということはない。市民議論によって延伸の方向性を決めていく。

- ・ここで説明し、すぐ計画に入っていくのか。

(回答) まず皆さんが思っていることをきちんと把握する年と考えており、すぐに何か計画したり、決断したりはしない。

- ・全体的に議会の中でも議論を進めていくのか。

(回答) このような案が出ているということは議会でも認識しているが、まだ計画もないため、議会で進めるような話まで至っていない。

**【本説明会の運営について】**

- ・上空を飛ぶ町内の地域だけにまず説明しているが、市の予算の中でお金を使っていくのに市民全体に説明をせず、騒音の苦情が来るところだけを狙った説明会というのは、市民を蔑ろにしている。

(回答) まずは最も影響を受ける可能性が高い地元の方から始めるという形で、町内会単位で実施しており、今後話を深めるときには、全市に説明することを考えている。

- ・丘珠空港は防衛省が所有し、陸上自衛隊が運営管理している札幌飛行場であり、ハードに関わる部分の説明をするのであれば、一緒に説明に来られてはどうか。実際に、最大で 550 億円の経費の可能性があり、国が 85%、残りは道と札幌市が半分ずつ支出するとインターネットで見たが、そうであれば尚更、見解なり説明する責任はあるのではないか。

(回答) 今回北海道と検討するに当たり、防衛省や国土交通省に報告したところ、まずは北海道と札幌市で丘珠空港をどのように活用していくか、案をつくってから話に来てほしいと回答を受けており、一旦作成した案を今回説明させていただいている。

**<地域以外の方より>**

**○ご意見**

**【空港周辺の環境について】**

- ・丘珠空港周辺は、札幌市からとても近く魅力的であり、最適な住宅地であるが、航空機の航路となっている事により市街化調整区域にされ続け、不公平だ。
- ・航路直下では、その資産の上空、つまり財産権を侵害している。ある地区は航空機の影響を考慮して、固定資産税下げている。自分のところは不公平である。

**【本説明会の運営について】**

- ・意見交換会であれば、参加者の発言時間に1時間はいただかないと成り立たない。

**【その他】**

- ・過去の住民合意ではジェット機は運航しないという内容だったはずだが、FDA に確認したところ札幌市からの要請を受け運航しているとの事だった。これは規定違反ではないのか。

※第3回において回答済み

(再掲) 札幌市としては住民合意に基づき環境基準を超えない範囲でのジェット機の運航は可能であると考えており、その範囲内で FDA に要請している。

○ご質問

【利活用の検討の進め方について】

- ・丘珠空港は以前設置されていた北 24 条が市街化になったため、騒音等の問題もあり丘珠に移設した。15 年前、民間機が市街地に墜落した際には、国は石狩当別地区に移転する計画を出したと聞いている。石狩に移転すれば、騒音はなくなり、跡地は副都心にもなる。航空会社も、長距離、大型機を飛行させるようになるかもしれない。  
(回答) 石狩への空港移転に関する正式な計画について、国が出したということは聞いていない。

※過去に北24条に設置されていた札幌飛行場は終戦とともに廃止されており、現在の丘珠空港の場所に移転されたという事実はありません。また、民間機の墜落について、運輸安全委員会の公表資料によると、15年前に発生した事実は無く、31年前の昭和62年に札幌市東区で墜落事故が発生した記録があります。

- ・札幌市には自治基本条例があり、公募の市民、学識経験者等様々な人達でまちづくりについて検討することになっているが、北海道と札幌市による検討会議の位置づけを教えてほしい。  
(回答) 行政の職員で検討した内容となり、札幌市と北海道がつくった利活用策の案である。その意味では、審議会や審査会等で作ったものではない。
- ・自治基本条例の中には、まちづくりの基本原則のようなものがあり、そこには市民参加が行われるといったことが書かれている。この検討会議に対する自治基本条例はどのような役割を果たしたのか。  
(回答) 検討会議は、何かを決める、あるいは計画する前段階であり、行政同士で検討した考え方である。計画を立てる前に、市民の方から意見を聞く場としてこの説明会を用意している。
- ・「丘珠空港利活用検討関係者会議」を開く場合、地域住民の委員はどう選ぶ予定か。  
(回答) 現在のところ、空港周辺の町内会の会長を想定している。
- ・町内会の会長は、地域住民の意見を集約し、自信を持って地区の意見を言えるのか。会長の個人的な意見がこの地域全体の意見として出ていかないか。地域住民から公募により選ぶべきである。  
(回答) まずは地域の方から話を聞き、その次のステップとしては公募等もあるかもしれないが、今年度の関係者会議については公募する予定はない。

・増便や騒音の抑制、オスプレイを飛ばさないよう何度も要望書や署名を出しているが、検討会議ではそれがどのように反映されたのか。

(回答) 要望書や署名の重さは我々も重々承知している。今回は、まず空港の現状を踏まえ利活用の案を提示しており、様々な要望を全て載せている訳ではない。色々な利活用策の案があり、滑走路延長だけを捉えてはいない。

**【空港周辺の環境について】**

・札幌市の騒音測定の際は、航空機はわざと騒音が出ないように飛行している。

(回答) 騒音測定は適正に行われていると考えており、恣意的に音を軽減しているとの認識はしていない。

**5. 閉会**

以上